

令和5年度  
事業報告書

公益財団法人防府市文化振興財団

# 令和5年度 公益財団法人防府市文化振興財団事業報告書

## I 事業総括

防府市文化振興財団は、真に豊かさの実感できる地域社会の形成と進展に寄与することを目的として、「豊かな心の育みと文化の薫りにあふれるまちづくり」を推進する防府市における文化活動の一層の活性化を図り、市民のニーズに応える多様な事業を展開しています。

令和5年度は、本財団の設立25周年であると同時に、地域交流センター（アスピラート）・青少年科学館（ソラール）開館25周年の節目の年となりましたので、記念の年にふさわしい多彩な事業活動を展開してまいりました。

また、防府市公会堂、防府市視聴覚ライブラリー及び防府市立防府図書館の3施設についても、より利用しやすい施設運営に努めるとともに、それぞれの施設を拠点とした魅力あふれる事業を展開することで、文化が市民に生きる力を育み、街の活力の源となるよう取り組んでまいりました。これからも、公益目的事業を事業運営の根幹として、積極的な事業展開で文化の振興を図ってまいります。

## II 事業概要

公益財団法人として定款の目的にかなった事業を展開するとともに、「輝き!ほうふプラン」に沿った文化・芸術活動の推進、並びに図書館運営事業による生涯学習を推進し、それぞれの施設の特徴を活かしながら連携して適正な運営に取り組みました。

また、収益事業については、公益目的事業の一層の充実を図るための財源確保や、利用者のサービス向上につながるよう、収入の確保に努めました。

### 1 文化の創造・発信及び文化活動の支援事業

#### (1) 音楽鑑賞事業（資料1頁～2頁参照）

本年度は、クラシック、ポップス、舞踊等の各種事業10事業15公演を開催し、合計で約7,300人の方にご参加いただきました。

新型コロナウイルスの影響も徐々に縮小し、各種催事に参加される方も徐々に増えてきました。

- ① クラシック
  - ア 主催事業
    - a 防府音楽祭

第23回目を迎えた防府音楽祭は、街の活性化を図るとともに、クラシック音楽をより多くの市民に親しんでいただけるよう1月5日（金）から8日（月・祝）までの4日間連続して開催し約1,400人もの方に音楽を楽しんでいただくことができました。

初日の「街角コンサート」は、「防府市議会棟議場」、「アスピラート市民スペース」、「毛利邸（大広間）」の市内3カ所で開催し、合計約300人以上の方に無料で音楽をお楽しみいただきました。

2日目に開催した入場無料の「プロムナードコンサート」は、人気公演のため入場チケットは抽選となり400人を超える方にお楽しみいただきました。今回は楽器の種類ごとに演奏し、入場された方による人気投票も行いました。

また、防府市内外から集まった小学生から一般の方までが受講した「管・打楽器特別公開クリニック」では、フルート、オーボエ、打楽器など7パートのクリニックを開講し69人の受講生がプロの演奏家から直接指導を受けました。

3日目の「わくわく夢の響演コンサート」は、モーツァルトの歌劇「魔笛」など歌の世界を楽しんでいただきました。

最終日の「ファイナルコンサート」は、防府アスピラート合唱団がブラームスの「運命の歌」を、また地元防府出身のオーボエ奏者広田智之も名演奏を披露し、ラストは、防府音楽祭管弦楽団の演奏で、誰もが聴き馴染みのあるベートーヴェンの交響曲第7番で幕を閉じました。

b バレエ！バレエ!!バレエ!!!

本格的なバレエとオーケストラの公演を公益財団法人 JKA による競輪補助事業として開催しました。公演は大変好評で、この公演の出演者の組み合わせが、首都圏でも観るのが困難なほどの豪華であったこともあり、地元だけでなく全国から約1,100人もの方にお越しいただき、極上の公演を楽しんでいただくことができました。

イ 共催事業

a デニス・ブリアコフ フルトリサイタル2023防府公演

世界で活躍する一流のアーティストを招いてのレッスンと公演で、前日の公開レッスンと大合奏は大変盛り上がりました。翌日の公演では、デニス・ブリアコフによる高難度の演奏技術と幅広い表現力に来場者は圧倒されました。

b 第1回防府音楽祭スプリングセミナー

県内外からヴァイオリン、チェロ、ピアノの受講生が集い、ソロや室内楽の演奏を学び、その成果を発表しました。

また、関連イベントとして開催した「0歳児から聴けるコンサート」では、多くの親子連れの来場があり赤ちゃんや幼児と一緒に音楽を楽しんでいただきました。

## ② ポップス等

### ア 主催事業

#### a ケロポンズファミリーコンサート

親子で楽しめるコンサートとして企画した公演で、チケットは早々に完売するほどの人気でした。ケロポンズの代表作「エビカニクス」をはじめとして、会場では子どもから大人まで一緒に歌ったり踊ったり、大変盛り上がり、終演後のサイン会では1時間半待ちの長蛇の列ができる盛況ぶりでした。

### イ 共催事業

#### a ブリヂストン吹奏楽団久留米コンサート

24回目を迎えた今回は、いつもどおりクラシックからステージショー、ポップスまで多彩な演出で来場者から高い評価を得ました。コロナ禍からスタートしたインターネットによる生配信も好評で約4千5百回の一般の方による視聴がありました。

#### b ハラミちゃん47都道府県ピアノツアー ～特急ハラミ号、出発進行だぬ！～

全国47都道府県の山口公演としてアスピラートで開催された公演は、舞台と客席が一体となって盛り上がり、演奏はさることながら、ご当地クイズや楽しいトークで、来場された方から楽しかったとの声を多数いただきました。

#### c Sugar & Spice 1st LIVE TOUR 2023 追加公演

ヴァイオリンのNAOTO、ギターの石成正人、ピアノの松本圭司の3人による新ユニットの公演で、数々の著名なアーティストと共演している3人だけあって抜群の演奏テクニックであり、来場者から高い評価を得ました。

#### d 海援隊トーク&ライブ 2023

武田鉄矢の軽快で楽しいトークに来場された方は大変喜んでおられました。ドラマの主題歌「贈る言葉」をはじめとした懐かしい歌から最新作まで、来場者は舞台に惹き付けられていました。

#### e ダ・カーポデビュー50周年記念コンサート

デビュー50周年を迎えたダ・カーポの2人と、その娘であるフルート奏者の榊原麻理子をメンバーに加えコンサートを開催しました。

公演ではダ・カーポと「防府アスピラート合唱団」、「アスピラート児童合唱団“Fanfare”」が共演しました。

ダ・カーポの懐かしくさわやかなハーモニーは健在で、来場された方から感嘆の声を沢山いただきました。

## (2) 音楽育成事業 (資料3頁参照)

幅広い層の市民に歌うこと、楽器を演奏することの醍醐味を堪能していただくことを目的とし年間を通して開催しました。

### a こども合唱教室

8月はこども文化祭に出演、そしてサマーコンサートを開催、11月には「ダ・カーポコンサート」で共演、さらに年明けは「防府音楽祭」に出演するなど充実したカリキュラムとなりました。

### b 弦楽合奏教室

中級・一般コースは市民音楽祭に向けて、プティアンサンブルコースはフェスタアスピラート出演に向けて活動しました。

### c 吹奏楽教室

夏の吹奏楽コンクール出場、20回目の定期演奏会と積極的に活動しました。

### d 合唱教室

防府音楽祭ではブラームスの「運命の歌」を、11月のダ・カーポとの共演では「野に咲く花のように」「みかんの花咲く丘」を披露し積極的な活動を行いました。

### e チェンバロ講座 触ってみよう!

こどもコースと大人コースには防府市内外の受講生22人が集まり、チェンバロの仕組みや歴史、演奏法を学びました。最終日には音楽ホールにおいて、それぞれとおきの一曲を披露し、演奏する楽しみを味わいました。

## (3) 音楽普及事業 (資料3頁参照)

市民に音楽に対する興味・関心を広げてもらうように各種音楽セミナーを開催しました。

### ア 主催事業

#### a 音楽セミナー／田中雅弘の音楽旅日記XXI

「変わるぞ防府!アジアと共に」

例年同様、前売券が完売する盛況ぶりで、このセミナーが定着していることが伺えます。市民が一丸となって防府の街づくりをしていく構想を話すと共に、ベートーヴェンチェロソナタからコダーイ無伴奏チェロソナタまで様々な作品を演奏し、受講生を楽しませました。

b 音楽セミナー/打楽器を語る～打楽器は国と文化を越えて～

今回は、打楽器奏者の照喜名仙子さんを講師に迎え、受講者全員でマリimbaから民族楽器まで楽器の試奏を行える参加者体験型のセミナーとなり、受講生から高い評価をいただきました。

**(4) 美術鑑賞事業 (資料4頁参照)**

本年度は、企画展を3回開催し、2万人を超える方にご参加いただきました。

ア 主催事業

a シルバニアファミリー企画展 シルバニア村のおいしい時間 in 山口

日本で生まれ、世界各国で愛されているドールハウスをモチーフとしたおもちゃ「シルバニアファミリー」の世界観を紹介する展覧会を開催しました。発売から40年近い歴史を持つおもちゃであることから、子供から年配の方まで幅広い世代の来場者が目立ち、大型ジオラマのみならず、会場内に設置したぬり絵コーナーやシルバニアのおもちゃで遊べるコーナーが子育て世代の満足度を高め、1万6千人を超える来場者で賑わいました。

b シールアート 大村雪乃展～夜景旅行

文房具の丸シールで主に夜景を描く新進気鋭の現代美術作家の展覧会を開催しました。大村雪乃さんは人気テレビ番組「プレバト!!」で講師を務める作家で、現代美術でありながら親しみやすい内容の展覧会になりました。

夏休み期間ということもあり子どもたちの参加も多く、制作コーナーも設けたことから現代美術の普及と育成の面でも効果がありました。

c アスピラートでクリスマス！2023／幸せますカメラ女子部写真展

クリスマスを盛り上げるイベントの一環として、中心市街地の近隣商業施設や山口県立防府商工高校と連携して開催しました。今年は市内の舞台業者と連携したライティングによる演出を行い、描いた絵が照明で浮かび上がる企画に多くの来場者がありました。

また、防府音楽祭のプレイベントとして、チェリスト田中雅弘による「灯りの下でコンサート」も行い会場は満席となる賑わいでした。同時期に実施した高校生を中心とした「カメラ女子部」の写真展も好評を博しました。令和6年度からは活動名を高校生の提案によって「カメL<sup>ら</sup>O<sup>ぶ</sup>VE (仮称)」と改め、展覧会名は「幸せます カメL<sup>ら</sup>O<sup>ぶ</sup>VE写真展 (仮称)」となります。

**(5) 美術育成事業 (資料4頁～5頁参照)**

市民から要望の多い幼児から楽しめる造形ワークショップ等、より多くの子どもたちを対象とした美術育成事業を開催しました。

ア 主催事業

a ゆめあーとひろば

20年目を迎える子どもたちを対象にした造形ワークショップで、流木や松ぼっくりなど自然物を用いた作品作り、LEDライトで光る作品作り、木のオカリナ作り、アボリジニ・アート体験、水墨画体験、ひな人形作りなど数々の制作体験を行い、子どもたちの自由な発想を引き出すワークショップとして1年間を通じて展開しました。

イ 共催事業

a 瀬戸内デザイングランプリ2023入賞作品展

県内の小中高生を対象としたデザインポスターの入賞作品展で、8回目となる今回は「やさい」をテーマに作品が募集されました。

応募された作品1,828点の応募の中から選ばれた優秀者はアスピラートの音楽ホールで表彰式が行われました。

**(6) 発表・支援事業（資料6頁参照）**

ア 主催事業

a フェスタアスピラート2024（音楽事業）

参加も運営も市民自らが行うイベントで総勢44団体が、全館を使ってノンジャンルのステージを披露しました。新規の参加希望者もあり、募集数を超える出演申し込みがあり、当日は約1,500人の来場者で盛り上がりました。

b フェスタアスピラート2024（美術部門）

「大好き！」をテーマに写真作品を募集し、応募作品数211点の中から一般の方による来場者投票と市内写真関係者などによる審査によってフェスタアスピラート大賞などを選出表彰しました。

選ばれた作品はホームページや広報誌にも掲載して受賞作品をPRしました。

イ 共催事業

a 防府アスピラート児童合唱団“Fanfare”第3回定期演奏会

今回は照明効果などにも力を入れて来場者を飽きさせない演出を施し、3部構成で合計18曲を歌い上げ、美しい歌声を楽しんでいただける演奏会となりました。

b 能章まつり

防府市出身の昭和の作曲家大村能章を顕彰するために毎年開催している歌謡祭は32回目を迎えました。市民の歌声の貴重な発表の場となっています。

- c 防府吹奏楽団第20回定期演奏会  
防府吹奏楽団のサウンドを遺憾なく発揮して、演奏者の楽しさが観客へ伝わる素晴らしい公演となりました。

#### (7) その他の文化鑑賞事業（資料6頁参照）

- ア 主催事業
  - a 会員招待事業  
出演者とのスケジュールが合わず、やむを得ず次年度に開催を延期しました。
- イ 共催事業
  - a 桂宮治独演会  
公演開催を前に地元を歩いて得たネタも交えながら、エネルギッシュでユーモアのある落語で会場を爆笑の渦に巻き込んでいました。
  - b 24時間テレビ46「愛は地球を救う」『明日のために、今日つながろう。』  
アスピラートでは「夏休み親子手作りラジオ教室」、「KRY山本気象予報士のお天気ワークショップ」、「STU48チャリティーライブ」を開催し、各催事とも定員を超える申し込みがあり、このチャリティーイベントを盛り上げました。

#### (8) 文化施設の管理運営（資料7頁～8頁参照）

施設の設置目的に沿ってそれぞれの特徴を活かしながら、市民が利用しやすい施設となるよう、各施設が連携をとりながら利用促進を図りました。

- ア 防府市公会堂
  - 市民の福祉を増進し、生活文化の向上に資するとともに広く集会の場として使用に供するために設置された公会堂は、その目的にかなう管理運営に努めました。
  - a 施設整備  
舞台音響設備プロセニアムスピーカー修理や無停電電源バッテリー交換など舞台音響関連の改善に努めました。
  - b 利用状況  
令和5年5月に新型コロナウイルス感染症法上の位置付けが2類から5類に変更になったことの影響で、利用率は33%となり前年度より4ポイント上がりました。利用人数は46,087人となり、昨年度より約9千人増加しました。  
また、吹奏楽コンクールが開催されたことも影響して、「大ホール」、「ステージ」の利用が伸びています。
- イ 防府市地域交流センター  
誰もが利用しやすい施設となるように、以下のとおり管理運営を行いました。



#### a 施設整備

平成10年10月の開館から25年が経過しており、様々な箇所が劣化してきています。

施設の修繕、更新についてはその都度防府市と協議しながら修繕を行ってきましたが、費用が高額になるものはすぐには着手できず、今後も厳しい状況が続くものと予想されます。

施設の設備・機器管理の面では、事務所系統の空調設備の不具合が何年も続いていましたが、完全に機能を停止したために機器を更新しました。音楽ホールや展示ホールなどで使用している大型の空調設備については開館以来更新をしておらず、機能停止を免れるには今後大規模な部品交換が必要となるため、市民スペースの雨漏り対策と合わせて今後の対策について市と協議しています。

また、利用者が館内の扉に指を挟んで怪我をすることがないように、すべての扉について総点検を行い、油圧でゆっくり扉を閉めるためのドアクローザーのオイル漏れをすべて改善しました。

毎年恒例となっている施設の裏側を公開するバックステージツアーを開催し、子どもから年配のご夫婦までの幅広い年齢層の17名の方に舞台音響や舞台照明の操作や効果を体験してもらいました。

1階市民ギャラリーも2年目を迎え、毎週末にはいろんなイベントが開催されるなど利用が活発になってきました。

#### b 利用状況

利用率については、前年度実績の67%を2ポイント下回る65%となりましたが、利用人数は前年度より2千人上回る7万6千人となり、利用料金収入も前年度より増加して23,361千円（前年度22,960千円）となりました。

各施設の利用率の内訳は、音楽ホールは前年度よりも5ポイント下がり58%でしたが、減少の理由は当館で開催を予定していた大型の音楽セミナーの開催会場が計画変更となったことに伴うものです。展示ホールは61%（同72%）と前年度よりも11ポイント下がりましたが、その理由は、従来展示ホールで開催されていた花展や水彩画展などのうち5団体が無料の市民ギャラリーへ開催会場を移したことに伴うものです。その他の施設はリハーサル室が85%（同73%）、練習室が77%（同73%）となりました。

全館を通しては、ウイルスの影響も少しずつ減少し、催し物が再開してきており、徐々に利用率も回復してきました。

## 2 科学及び科学技術に関する知識の普及・啓発を図る科学館運営事業

ソラール開館25周年記念の年に当たる、第四期指定管理期間3年目の令和5年度は、開館25周年記念事業として特別展「食品サンプル展」や「第1回やまぐちU15科学アイデア作品・研究コンテスト」などの周年事業にふさわしい科学事業を開催しました。昨年度に引き続き安心・安全に配慮しながら、当館の基本スタイルである体験型の展示・講座を積極的に実施して参りました。

### (1) 教育普及事業（資料9頁～11頁参照）

#### ① 日常事業

当館の展示は、光と色の性質や身近な科学現象の原理などを紹介する2階常設展示室をはじめ、地域の自然コーナーや、宇宙と太陽の謎や生命の進化の歴史に触れることのできる回廊展示室などで構成されています。

「サイエンスショー」、「たのしい工作」、「ソラールの科学教室」の週末に実施する日常事業につきましては、毎週末に積極的に実施し、少しでも多くの来館者へ科学を学ぶ機会を提供しました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、昨年度まで当面の間中止していた「太陽望遠鏡ガイドツアー」を、今年度はコロナ発生状況等を鑑みながら、春休み期間や7～3月の土・日・祝日（春の企画展とサイエンスアカデミー期間除く）に実施しました。

#### ア たのしい工作

幼児以上を対象にした簡単な工作教室を、土・日・祝日、夏休み、冬休み、春休みに実施しました。今年度は、4月～7月の特別展「食品サンプル展」期間中は、関連工作として食品サンプルの「サンデーメモスタンド」工作（有料）を特別に実施しました。また、サイエンスアカデミー会期以外の夏休み期間中に「スライムをつくろう」と題した幼児・小学生向けの簡単工作を随時で行いました。計10種類の工作を実施し、5,410人の来館者がありました。

#### イ サイエンスショー

春休み期間と12月の冬休み期間、及び土・日・祝日に、一般の来館者向けに1日2回実施しました。

また、平日でも社会見学の学校団体などの要望のあった団体向けにも実施しました。

#### ウ ソラールの科学教室

防府の自然や星空の観察、ものづくり等を通して科学の奥深さを追及する内容の科学教室を実施しました。地学実験教室「石灰石の風鈴を作ろう」、化学実験教室「銀鏡反応で鏡を作ろう」、自然観察教室「海の貝調べ」など、自然観察を中心

とした毎年同じテーマの教室と新しいテーマの教室のバランスを考慮しながら、合計36講座を開催し、計579人の受講がありました。

また、物理実験教室「重さをはかる棒ばかりを作ろう」、自然観察教室「冬の葉っぱかんさつ&葉脈標本づくり」など、企画展やスポット展に関連した講座も実施しました。

宇宙の日特別講座「宇宙教室」では、防府市内のALTとして勤務している天文学や地質学が専攻のアメリカ人の先生を講師としてお招きし、「惑星科学」をテーマに、日本語と英語の同時通訳スタイルでの講話を行い、科学だけでなく英語の学びの場も提供しました。さらに、対象を絞った低年齢層向けや大人向けの講座の実施など、年齢層を限定した講座の開催も昨年度に引き続き試みました。

#### エ 太陽望遠鏡ガイドツアー

主に土・日・祝日の晴天時に、来館者向けに当館の西日本最大級の六連装式太陽望遠鏡を使った太陽の観察会を行いました。

また、今年度から、公開日が雨天や曇天の場合は、天候に影響されない太陽観測衛星の一般公開映像を使って太陽に関する解説を行いました。

#### オ クイズラリー

館内での滞在時間が比較的長い社会見学の学校団体向けに、回廊展示室の壁面展示の学びが深まるようなクイズラリーを実施しました。

### ② 特別事業

子どもから大人までの幅広い年齢層に対して、わかりやすい展示方法や体験を通して、科学への興味・関心を高めることができる事業を実施して参りました。

また、企画展・特別展に加えて、常設期間中にスポット展も開催し、来館者に様々な分野の科学の学びの場を提供しました。

#### ア 開館25周年記念特別展「食品サンプル展～さわって、撮って、科学する！～」

ソラール開館25周年記念事業として、食品サンプルの製法とその進化、そして使われ方の変化や今後の可能性について感じていただくことを目的に開催しました。食品サンプルメーカー株式会社いわさきの社内コンクール作品を中心に、遊び心とユーモア、そしてリアリティに溢れるおいしく楽しい作品を、さわって、撮って、楽しみながら堪能できる内容で構成しました。

また、防府観光コンベンション協会や防府市給食管理室協力のもと、特別に製作した「はも料理」など防府の郷土料理や、山口県ならではの学校給食の食品サンプルも製作し、本展でしか見ることのできない展示も行いました。

会期中、サンデーメモスタンド工作や「ロウで食品サンプルを作ろう」と題した特別講座、食品サンプル職人による製作実演も実施しました。

さらに、ミュージアムショップでの食品サンプルグッズ販売や、会期中盤での一部展示入替えの実施など、開館25周年記念事業にふさわしい、より充実した特別展になるよう努めました。

4月1日から7月9日までの会期で、県内外から23,555人の来館がありました。

#### イ 夏休み特別企画「サイエンスアカデミー2023」

主に幼児や小・中学生の科学的な好奇心を刺激し、科学やものづくりのおもしろさを知っていただくきっかけづくりと、夏休みの自由研究の一助になることを目的に、「サイエンスアカデミー2023」を開催しました。

平成25年度から開催している本事業も、令和5年度で10回目（令和2年度はコロナ対策のため中止）を迎えました。

本年度も、昨年度のコロナ禍での状況と学校業務等の事情を鑑み、引き続き講師をサイエンスFUNクラブ・ソラール科学教育指導員・大学・博物館・元教員の方のみに限定して実施しました。Aコース（4歳～小学6年生対象）を6講座、Bコース（小学3年生～小学6年生対象）を15講座、Cコース（小学5年生～中学3年生対象）を20講座実施しました。

また、大学と博物館などにご協力いただき、昨年度から引き続き講義形式のCコース（小学5年生～一般対象）を4講座実施しました。

さらに、会期中にそれぞれ期間限定で展示・随時体験のみの企業ブースを設け、2社にご協力いただきました。

7月22日から8月18日までの会期で、4,828人の来館がありました。

#### ウ 防府市小中学校科学作品展

防府市小・中学校教育研究会理科研修部との共催事業として、市内の小・中学生の夏休みの自由研究・工作から、校内選考で選ばれた優秀作品を毎年展示しています。

本年度は、小学校の部252点、中学校の部165点の作品を展示しました。

9月27日から10月1日までの会期で、1,760人の来館がありました。

#### エ 企画展「はかるがわかる展～“計る”と“測る”と“量る”～」

子どもから大人まで楽しみながら、「はかる」基準の大切さを知り、自らの体を動かして、はかる楽しさを存分に味わっていただくことを目的に開催しました。

私たちの生活に欠かすことができない「はかる」をテーマに、本展では、特に「時間」・「長さ」・「質量」の3つの「はかる」について、自分の感覚や体を使ってはかる体験コーナーや、基本単位の定義に関するパネルや資料で紹介しました。

また、日本で昔から使用されている尺貫法や、現在世界のはかる基準となっている国際単位系（S I）などのさまざまな「はかる」単位や技術についても一部紹介しました。

さらに、郷土資料館を会場に、昔から生活の中で使われてきた道具を展示資料で紹介する「昔の『はかる』」と題した展示も防府市文化財郷土資料館と連携開催しました。

10月28日から1月14日までの会期で、6,215人の来館がありました。

#### オ スポット展「ソラールの冬休み2023」

学校の冬休み期間および年末の時期に、ソラールへの来館を促進することを目的に、球をコロコロ転がす木のおもちゃコーナーやガラポン抽選など、幼児から楽しめる冬休み期間限定イベントを開催しました。

12月23日から28日までの会期で、667人の来館がありました。

#### カ スポット展「はっぱ展～形にかくされた生き方のヒミツ～」

身近でありながら、普段見過ごされがちな「はっぱ」の形に着目し、その適応的意義について考えてもらうことを目的に開催した当館オリジナルの展示です。葉の役割などの基礎知識を紹介するパネルのほか、植物標本・葉脈標本・土器・化石・生体と多様な実物資料を展示し、様々な面から葉の形の不思議さに迫りました。

1月27日から3月3日までの会期で、2,429人の来館がありました。

#### キ スポット展「走る！鉄道模型展」

当館の常設展示の中でも特に人気のある「鉄道模型」の規模を拡大し、昭和初期から平成の半ばにかけて活躍していた列車の模型（1/80サイズ）を8.1m×6.3mのレイアウト上で複数同時に走らせるイベントを開催しました。様々な車両の歴史や走行する仕組みの解説に加え、一般的な鉄道模型の展示では見ることの出来ないコンピュータ制御による自動運転と従来の手動運転との比較解説も行い、科学館ならではの展示になるよう努めました。

3月16日から24日までの会期で、2,702人の来館がありました。

## ク 「第1回やまぐち U15 科学アイデア作品・研究コンテスト」

県内唯一の科学館であるソラールの開館25周年を契機に、早期から科学に対するグローバルな視点を持たせるとともに、科学に関心のある子どもの裾野を拡げるため、アイデア作品・研究コンテストを開催しました。

10月1日～22日の期間で、県内の中学生から、科学技術に関連した発明・工夫や、自然観察・研究考察に関する作品を募集し、58点の応募がありました。

1次審査で優秀賞8点を選定し、2次審査では、プレゼンテーション審査を行い、最優秀作品2点（柏木幸助大賞、ニコラ・テスラ大賞）を選定しました。最優秀賞受賞者には、副賞として、12月25日から27日までの2泊3日で、日本を代表する科学系博物館の国立科学博物館や日本科学未来館、産業界や研究機関と連携して先端技術を紹介している科学館のTEPIA先端技術館や科学技術館を訪問して展示を見て学ぶとともに、特別メニューを体験する「科学の旅」を進展しました。

なお、今回は、セルビア共和国大使館にも表敬訪問し、全権大使ほか大使館職員や日本セルビア協会会員を前に、自分が取り組んだ作品のプレゼンテーションをおこないました。

### (2) 情報収集保管事業（資料11頁参照）

当館の太陽望遠鏡による太陽観測映像を、デジタルデータとして保管に努めました。

### (3) 啓発調査研究事業

科学教室や工作などの教材開発に取り組みました。

### (4) 学校連携事業及び外部連携事業（資料11頁～15頁参照）

#### ① 学校連携事業

予め希望のあった社会見学の学校団体向けにサイエンスショーやクイズラリーを実施し、館内での充実した科学の学びができるよう努めました。

市内外の小中学校への出前講座として、理科の出前授業やクラブ活動、科学部、PTA活動、放課後子ども教室、家庭教育学級などに対応し、青少年への科学の普及活動を積極的に行いました。昨年度に引き続き、中学生向けに「太陽」をテーマにしたオンライン授業も実施しました。また市内外の幼稚園・保育園からの出前講座要請にもお応えしました。

館内実習として、中学校の職場体験実習を8人、大学のボランティア実習を1人、大学や高等専門学校のインターンシップを4人受け入れました。さらに、教職員の研修（中堅教諭等資質向上研修）として、市内外の小学校や高等学校から教職員を3人受け入れました。

## ② 外部連携事業

防府市の教育委員会・産業振興部・観光振興課・子ども家庭課・公民館、市内外の児童館・図書館・子ども会、山口大学等と連携して、家庭教育学級や一般向け講座など、それぞれが主催する活動の講師として、職員を派遣しました。

毎年恒例となった、地元コミュニティFMや国土交通省河川管理課、防府市との環境教育特別講座、防災教室などの連携事業に加えて、山頭火ふるさと館、毛利氏庭園（防府市観光振興課主催）と連携した文化・歴史と自然科学の2分野コラボの講座も実施しました。

夏休み期間に、防府図書館との共催で、司書と学芸員双方の視点から読書感想文のヒントとなる展示を両館で行いました。

また、防府市文化財郷土資料館による「ソラール敷地内の遺跡」に関する出張展示など、他館異分野のコラボ展示によって、お互いの施設の利用促進を目指し、一定の成果を得ることが出来ました。

特に、今年度は関東大震災から100年の年に当たることから、防府市の防災対策や過去に起こった災害を紹介することで、今後の一般市民の防災意識を高めることを目的に、防府市防災危機管理課主催の展示「夏休みわくわく防災体験ツアー」を8月19日から27日までの会期で開催しました。大雨を映像体験できる装置や過去の防府市での災害写真パネルなどの展示に加えて、会期中の土日に実施した関連特別講座に当館職員も講師として協力しました。会期中は2,014人の来館がありました。

さらに、電池工業会が開催している出前講座を特別講座として積極的に活用・実施し、幅広い科学の学びの場を提供しました。

### （5）科学教育普及指導員派遣事業

本年度は、特に要望の多かった、市内の小中学校のクラブ活動や放課後子ども教室などへの出前講座の依頼に対応するため、必要な知識や技術をもった当館の科学教育指導員（元専門職員）を派遣しました。講座は29回行い、のべ934人の児童・生徒へ、実験・工作等の指導を通して、科学の不思議さや楽しさを伝えることが出来ました。

### （6）防府市少年少女発明クラブ

青少年の科学技術に対する夢と創造力を育み、創造性豊かな人間形成を図ることを目的に、当館を活動の場として開設された発明クラブの活動も23年目になりました。ボランティアグループ「サイエンスFUNクラブ」の皆様や専門知識をお持ちの方の多大なお力をいただき、充実した活動を行っています。

今年度は、基礎コースと応用コース（電子工作、化学実験）の2コースに分けて活動内容を構成し、5月から3月まで活動を行いました。

また、昨年度に引き続き、密集を避けて1講座1会場にするために活動スケジュールの調整等を行い、より安全、且つ充実した活動が提供できるよう工夫をして実施しました。

## （7）科学施設の管理運営（資料16頁～17頁参照）

### ① 防府市青少年科学館

市民の科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図るとともに、創造性豊かな青少年を育成することを目的として設置された当施設は、その設置目的にかなうよう管理運営に努めました。

#### ア 施設整備・運営

本年度は、5月より新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に引き下げられたことから、展示物の一部使用制限は撤廃しました。日常の対策としては、ご来館の皆様が安心して施設を利用できるよう、館内各所にアルコール消毒液を設置し、消毒清掃や換気、講座の人数制限など、安全な運営のための対策は継続して実施しました。

施設の維持管理については、清掃や設備管理業務などにおいて、受託者と意見交換や情報共有を行いながら、お客様の安全と安心を第一に適切な管理・運営に努めました。豪雨時期には、地下ピットへの浸水や、雨漏りがありましたが、その都度修繕を行いました。

また、空調設備、制御設備などで経年劣化に伴う機器の不具合が発生し、その都度修繕を行いました。交換部品が手に入らず機器の更新が必要な設備もあり、次年度に引き継いで対策をしていきます。

開館から25年が経過し、エレベーター等の様々な設備の劣化が進んでいますので、防府市と情報を共有し、長寿命化に向けた対策の検討を次年度も継続していきます。

平成27年度から開始した社会見学の引率教職員に対する観覧料免除は、本年度も引き続き実施しました。

常設展示については、感染リスクの少ないものは再展示するとともに、新規の展示物を科学事業の一環として3種類制作しました。昨年度設置場所の見直しをした1階ロビーの柏木幸助コーナー、太陽望遠鏡のリアルタイム映像を上映するパソコンを常設展示室近くに移動したことにより、来館者の関心を引くようになり、設置場所の見直しの効果が表れてきました。



1階の情報コーナーについては、本年度も防府図書館の協力のもと蔵書を企画展に合わせたものを選択して紹介し、来館者が自由に閲覧できるようにしました。

さらに、来館者への情報発信として、大型モニタを活用したデジタルサイネージを設置し、講座の案内や実際の展示の様子等をリアルタイムで表示するようにしました。

昨年、大幅にリニューアルしたホームページも、利用者に親しみやすく、必要な情報が得られるようデザインと閲覧性の向上を図るとともに、講座の申し込みや各種お知らせについて適宜情報発信に努めました。

#### イ 利用状況（資料16頁～17頁参照）

令和5年度の入館者数は、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行した影響や開館25周年記念特別展「食品サンプル展」、夏休み後半の防府市防災危機管理課とタイアップした「わくわく防災体験ツアー」など、各種企画の充実を図ったこともあり、昨年度を大きく上回る48,201人となりました。

また、館外普及活動として、市内の小中学校や公民館の家庭教育学級などへの派遣講座や、防府観光コンベンション協会と連携した企画への協力などにより、延べ3,136人の参加がありました。これにより入館者及び館外参加者人数は総合計で51,337人となりました。

### 3 学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興に関する事業

学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興と学習支援を行うことを目的に、視聴覚教育事業を実施しました。

#### (1) 視聴覚機材や教材の計画的な充足（資料18頁参照）

防府市視聴覚ライブラリー運営委員会については、令和5年10月6日に開催し、令和4年度の事業報告及び決算、令和5年度の事業計画及び予算並びに令和6年度事業計画についてご審議いただき、特に、学校での情報機器の利用状況や今後の自主制作教材について様々なご意見をいただきました。

令和5年度の自主制作教材として、富海地区の藍染づくりを支える人物の紹介や、藍づくりや学校教育との連携の様子をまとめた「富海の藍づくり」を制作しました。

また、研修講座や学校教育との連携のために、オンライン配信ができるよう機材の活用をしました。新たに備品として様々なジャンルのDVD作品や、館内での展示案内で利用する大型モニタ（58インチ4k液晶テレビ）2台と、貸出用ポータブルアンプを購入しました。

## **(2) 視聴覚機材や教材の貸出管理（資料18頁～19頁参照）**

学校や各種機関で、自前の視聴覚機器をそろえつつある現状から、視聴覚機材の貸出数は66件、貸出日数も延べ251日となり、令和4年度に比較して、大きく減少しました。

また、DVD等の視聴覚教材の貸出は児童生徒一人1台のタブレット端末の普及により小中学校での利用は減ったものの、保育園や子ども会などの社会教育団体の利用が増え、29件、延べ日数82日となり、昨年度より増加となりました。

今後も市民の皆様の学習活動を支援できるような視聴覚機材や機器を揃えるとともに、引き続き市内小中学校や貸出対象となる団体へ向けたPRを行ってまいります。

## **(3) 防府市青少年科学館の多目的ホールでのビデオ上映（資料20頁参照）**

科学館の多目的ホールでは、スポット展などに沿う教材や、科学により一層興味をもっていただけるような教材を選定し、上映しました。

また、企画展などで多目的ホールが使用できない時期にも、ロビーで大型テレビによる上映を行いました。

## **(4) 市内小学校あて巡回ビデオの配送**

昨年度まで実施していた巡回ビデオについては、児童生徒1人1台のタブレット端末が整備され、ネットによる視聴覚教材の閲覧が可能になったことを受け、令和4年度より配送を中止しました。今後はライブラリー運営委員会や防府市小学校教育研究会視聴覚教育研修部と協議した結果、ライブラリー教材の目録をホームページ等で紹介し、希望する学校に直接貸し出しする方法に変更しました。

## **(5) 講習会の開催（資料20頁参照）**

今年度は、パソコンを利用したスライドショー作成を中心とした動画編集講習会を3月5日に開催しました。自分で動画を編集したいというニーズもあり、例年より多い17名の参加者がありました。今後も市民のニーズに合わせて、より参加しやすい講習会を企画してまいります。

## **(6) ホームページの充実**

ホームページ上で、自主制作の「地域教材ビデオ」を直接閲覧できるようにしました。

またライブラリーが所有する教材の目録を、防府市視聴覚ライブラリーのホームページからより自由に閲覧できるよう、引き続き管理しました。

#### 4 教育及び文化の情報拠点として生涯学習の支援を図る図書館運営事業

教育及び文化の情報拠点として、図書館資料・情報提供サービスの向上・強化を図るとともに、その資料・情報を活用できる生涯学習活動の場として、集会・文化活動の推進に努めました。

また、「第2次防府市図書館サービス振興基本計画」や「第3次防府市子ども読書活動推進計画」に基づき、図書館利用促進や読書活動推進のための施策に取り組みました。

※具体的な数値統計については、別紙参考資料2 1頁～2 5頁参照を参照。

##### (1) 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

① 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館

###### ア 資料収集業務

図書館資料の適正な選書・収集を「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づいて行い、質・量両面の充実に努めました。

地域資料、特に防府市関係資料については、市関係者関連資料・市の行政関連資料及び歴史・地誌・民俗資料等の収集を行い、防府図書館独自の特徴的なコレクションの形成に努めました。

###### イ 資料分類・目録整備業務

資料の受入れに際しては、受贈資料も含めて体系的に管理するため、迅速・正確な資料組織化・装備を行いました。資料の分類は日本十進分類法新訂10版に基づき適切な書架分類と配列を行い、資料受入れと同時に、日本目録規則に基づく事務用コンピュータ目録を作成し、利用者に分かりやすいOPAC（オンライン閲覧目録）検索画面等を提供しました。

###### ウ 書架管理・蔵書点検業務

月例整理日だけでなく、常に書架の整理整頓に努め、返却資料も迅速に処理しました。延滞資料については電話・葉書・Eメール等により定期的に返却を督促し、延滞資料に予約が入った場合は随時督促を行いました。

また、10月3日（火）～10月5日（木）、3月5日（火）～3月7日（木）には、定例の全開架資料の蔵書点検を行いました。

###### エ 資料提供業務

窓口カウンターでの、資料の貸出及び返却業務、利用登録業務、予約・リクエスト受付業務等を、常に正確・迅速に行うよう努めました。

また、個人情報保護の観点から、自動貸出機利用奨励のための案内を行いました。

② 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館

ア コンピュータシステム管理業務

コンピュータシステムの円滑な運用により、サービスの強化に努めました。Web上での資料検索・予約・貸出期間延長、利用者が自らの読書履歴を管理する読書手帳、利用者がWeb上で読みたい本や既に読んだ本を管理するMy本棚、読書目標や読書量を個人管理する読書マラソン等の機能の活用促進に努めました。

イ 情報発信（広報）業務

ホームページを適切に管理運営するため、随時情報を更新し、内容の整備と情報提供サービスの充実に努めました。

また、「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」（以上、月刊）、「行政関係図書紹介」（季刊）等の広報紙を発行し、行事関係チラシ等をその都度作成するとともに、市広報「ほうふ」（月2回刊）、防府市文化振興財団機関紙「イベントアイ」（隔月刊）、防府市メールサービス（随時）、「インスタグラム」（随時）、防府市文化振興財団「メールマガジン」（毎月）、及び地域情報誌「ほっぷ」（毎月）に図書館関係記事を掲載しました。

さらに、地域コミュニティーFMラジオ「FMわっしょい」の『防府市からのお知らせ 情報モリモリ』に、図書館職員が毎月第2・4木曜日に定期出演するとともに、山口ケーブルビジョンのニュース番組「まちかどNEWS」（5月19日（金））に出演しました。

ウ 図書館年報作成業務

「令和4年度図書館年報」及び「数字で見る防府図書館（令和4年度の統計より）」を5月31日（水）付で発行し、ホームページにも掲載しました。

エ サービス環境整備

図書館施設・設備・備品の点検と修繕を適切に実施し、恒常的で計画的な清掃業務を行うことにより、安全で快適に利用できる環境整備に努めました。

また、3月4日（月）に防府図書館まつり実行委員会より寄贈された「スチール製紙芝居架」を、紙芝居コーナーに設置しました。

オ 安全対策・危機管理業務

施設管理会社・警備会社・警察等との連携を密にしながら、常に的確な状況把握と防犯管理に努め、施設管理会社とは毎月1回定期協議を行いました。安全管理上問題がある行為や迷惑行為に対しては、毅然たる態度で対応しました。

また、AEDや防犯カメラの点検を毎日開館前に行い、施設の危機管理マニュアルに基づき、常に事故や犯罪等の発生に迅速・的確な対応が取れるよう備えました。10月5日（木）と3月7日（木）には図書館単独の消防避難訓練を行い、10月19日（木）にはルルサス防府全体の避難訓練に参加しました。

さらに、新型コロナ感染防止対策として、受付カウンターのビニールシート壁の設置と、入口の体表検知カメラと足踏み式消毒スタンドの設置を継続しています。

なお、5月8日（月）より、お話のへやと準備室を使用できるよう変更しました。

#### カ 利用マナー啓発業務

「マナーアップキャンペーン」（会期7月5日（水）～8月31日（木））を実施しました。

また、小学生までを対象とした「グッドマナーチャレンジ」では、グッドマナーチャレンジカードを764枚配布し、目標達成者は98人でした。

### ③ 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館

#### ア 移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務

市内全域サービスの充実を図るため、移動図書館車に常時約3,500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを、2週間に1回の周期で巡回しました。

なお、「スーパーはらだ」閉店によるステーションの廃止に伴い、9月より新ステーション「ルーフ・イリエ駐車場」を設けました。また、利用状況や利用者の声を踏まえてステーションの見直しを行い、来年度4月より、「麒麟レモンスタジアム武道館横」を廃止し、新たに「ハローズ防府新田店」を設けることとしました。

さらに、11月12日（日）に大道小学校で開催された「大道まつり」、11月13日（月）に行われた玉祖小学校2年生の生活科の授業において、移動図書館車の臨時出張サービスを行いました。

#### イ 電子図書館運營業務

図書館への来館が困難な方や障害のある方等、幅広い利用を可能にするため、インターネットを通じていつでもどこでも電子書籍を利用できる電子図書館を管理運営しました。

また、音訳ボランティアグループ「翠の会」が視覚障害者向けに作成した郷土作家4名の著作の音訳カセットテープを、順次デジタルデータに変換し、電子図書館用に編集したものを音声資料として登録中です。

なお、3月18日（月）より、山根基世の作品2点が利用できるようになりました。

④ 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館

ア レファレンス（調査研究相談・読書相談）業務

資料相談カウンターにおいて司書有資格者が、利用者への調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスを行いました。こどもカウンターにおいても、資料利用案内・読書案内等の業務を行って、子どもの学習活動・読書活動を支援しました。

また、参加登録している、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧業務の利用促進や「レファレンス協同データベース」の活用を図るとともに、他の図書館や市内外の関係機関等に照会したり、利用者をそれらの機関へ案内・紹介したりする、レフェラルサービスを行いました。

さらに、レファレンス事例集や新着図書案内・パスファインダー（テーマ別資料利用案内）等の充実に努めるとともに、レファレンス研修への参加や、利用者とのコミュニケーションを図るフロアワークの強化に努めました。

イ 図書館資料の複写サービス業務

利用者の求めに応じ、著作権法や防府市手数料条例に基づいた図書館資料の複写サービスを適正に実施しました。

**（2）地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館**

① 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館

ア ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務

4月27日（木）に開催された「防府図書館利用者・サークル連絡会活動発表会」において、図書館職員による「徳川家康」に関する図書の、同じく9月28日（木）に開催された活動報告会においては、「牧野富太郎」に関する図書、同じく2月28日（水）に開催された図書館講座においては、「睡眠」に関する図書のブックトークを行いました。

また、「第12回防府市子ども読書フェスティバル」を、実行委員会、ボランティア団体と協働で5月28日（日）に開催し、「子ども読書のまち・防府」第12号を10月24日（火）付けで実行委員会から発行しました。

さらに、「第33回防府図書館まつり」を、実行委員会、ボランティア団体等と協働で、10月29日（日）に開催しました。

- ② 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館

ア ボランティア活動推進業務

「防府図書館ボランティア連絡会議」を1月25日（木）に開催し、図書館サービスの向上を図るため、現状と課題についての意見交換をしました。

また、図書館ボランティアの新規育成を図るための講座「図書館ボランティア養成講座」は、2月1日（木）、15日（木）、22日（木）、26日（月）と4回シリーズで開催しました。

**（3）生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館**

- ① 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

ア イベント・懇談会業務

- ・ トークイベント・ワークショップ

「第12回防府市子ども読書フェスティバル」（5月28日（日）に開催）において、絵本作家よしながこうたくさんを講師に迎え、絵本の読み聞かせやワークショップを開催しました。

- ・ さんさんおはなし会

親子読書を推進するとともに、家族と一緒に過ごし、家庭の大切さを考えるきっかけとなるよう、毎月第3日曜日の家庭の日に、図書館職員によるおはなし会を開催しました。

- ・ 月いちキネマ

毎月1回、主に高齢者を対象とした懐かしの映画上映会を開催し、図書館職員による上映した映画に関する図書ブックトークを行いました。

なお、8月6日（日）は、夏休みに合わせて子ども向けの映画を上映し、12月7日（木）には、障害者週間にあわせて「バリアフリー上映会」として開催しました。

- ・ 大人のくらし塾

主に高齢者を対象とした暮らしに役立つ実用講座「大人のくらし塾」の令和5年度前期として、図書館職員による「いつでも！気軽に読める！電子図書館体験会」を9月29日（金）と9月30日（土）に開催しました。また、後期は、生涯学習インストラクターの吉田悦子氏を講師に迎え、「はじめてでも楽しい！心が伝わる絵手紙講座～春のごあいさつ～」と題して、1月26日（金）、1月27日（土）に講座を開催しました。どちらの講座も、参加者からは楽しく受講できたと好評を得ました。

- ・ ビブリオバトル

小学生から大人まで参加できる本の紹介コミュニケーションゲーム「ビブリオバトル（知的書評合戦）」の令和5年度第1回目を、11月5日（日）に、第2回目を3月10日（日）に開催しました。

- ・ 利用者懇談会

11月30日（木）、図書館サービスの向上を図るために、利用者の意見や提言を聞く「防府図書館利用者懇談会」を開催し、参加者からさまざまな気づきが寄せられ、要望もいただきました。

- ・ クリスマスおはなし会

12月17日（日）、職員がサンタクロースに扮装して登場する「クリスマスおはなし会」を開催し、好評を得ました。

#### イ 資料展示・展覧会業務

展示コーナー・中央カウンター前・こどもカウンター前での月例資料展示、及び新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示を、時宜に即したテーマを選定し定期的に行いました。

展示室では、常設展示「上山満之進と三哲文庫」を行いました。

また、ブラウジングコーナーにおいては、第12回防府市子ども読書フェスティバルの開催に合わせての展示（図書館利用サークル「防府友の会」の活動紹介と「布絵本「結う」」の作品：5月27日（土）～5月28日（日）、ワークショップ制作物：5月28日（日）～7月3日（月））、防府市政策推進課による「令和5年度山口県統計グラフコンクール入賞作品」の展示（1月19日（金）～1月29日（月））、「らるごかふえ防府」の皆さんによる「世界自閉症啓発デー 発達障害啓発週間 啓発揭示展」の展示（3月8日（金）～4月1日（月））を行いました。

さらに、11月12日（日）にルルサス文化センターとわっしょい広場で開催された、防府市通所サービス連絡協議会の主催する「ほうふ福祉まつり」に参加し、「防府図書館障害者サービスの紹介」と題して展示を行い、3月3日（日）にルルサスで開催された「生涯学習フェスティバル」においても、2階ロビーで「防府図書館のご案内」をパネル展示で行いました。

#### ② 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

##### ア 生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務

生涯学習グループの活動拠点として図書館の活用を推進するため、研修室他、集会スペースの利用許可等の業務を適正に行い、機会・場・設備・資料等を各団体に提供しました。



#### **(4) 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館**

##### ① 地域（郷土）資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

###### ア 地域（郷土）資料収集業務

地域資料、特に防府市関係資料については、市関係者関連資料・市の行政関連資料及び歴史・地誌・民俗資料等の収集を行い、防府図書館独自の特徴的なコレクションの形成に努めました。

また、図書館利用サークル「おはなしでんしゃ」が制作した防府に関する紙芝居5点を複製・製本し、郷土資料として貸出できるようにしました。

##### ② 地域（郷土）の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

###### ア 上山満之進と三哲文庫顕彰業務

展示室内の常設展示「上山満之進と三哲文庫」について、随時、展示替えを行いました。

また、ブラウジングコーナー壁面においては、「上山満之進没後85年展」と題したパネル展示（7月5日（水）～7月31日（月））を行いました。

###### イ 防府史料刊行業務

「防府史料」第73集『周南先生文集 初編 自七至八』（山県周南著）を3月14日（木）付けで発行しました。

##### ③ 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

###### ア 春川市立図書館との資料交換業務

大韓民国春川市立図書館との資料交換協定に基づき100冊程度の資料を相互に寄贈し、受贈した資料を広く市民の利用に供しました。

#### **(5) 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館**

##### ① 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

###### ア 学校図書館支援業務

防府市教育委員会や市立小中学校との連携を密にして、ネットワーク・システムを活用した学校支援図書貸出業務や、貸出文庫業務を行うとともに、学校司書の研修の機会や場の提供に努めました。

また、小学校で開催される選書会（5月3校、6月4校、8月1校、9月2校、10月2校）のためのリスト作成や図書の貸出しなど、学校司書との連携に努めました。

## イ 地域文庫・団体貸出業務

市内15ヶ所の公民館に配本所を設置し、200冊の図書を3か月に1回交換する地域文庫業務を行いました。

また、市内の施設・団体等の読書活動を支援する団体貸出業務として、貸出文庫業務を行うとともに、小学校留守家庭学級を対象に、貸出のための選書を職員が代行する選書サービスを行いました。

## ② 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

### ア 他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務

他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・研修活動等を積極的に行うとともに、博物館や文書館等との連携にも努めました。

また、山頭火ふるさと館の第六回自由律俳句大会（応募期間5月1日（月）～11月30日（木））のための投句箱を、図書館内に設置しました。9月20日（水）と2月21日（水）に同館で開催された「山頭火を学ぶ会」と題した講座には、講師として職員を派遣し、「大正時代の俳句を読む」と題する講演を行いました。

さらに、山口県及び島根県の7市町の図書館が合同で「ナナシマチの図書館をめぐるスタンプラリー」を開催（会期：10月28日（土）～12月28日（木））し、239人の参加がありました。なお、その期間中に各図書館がリレー方式で講演会などを開催しましたが、防府図書館では、11月26日（日）、防府市出身のチェロ奏者田中雅弘さんをゲストに迎え、ブラウジングコーナーにおいて「詩とともに音楽を愉しむ」と題する音楽会を開催し（88人参加）、大好評を得ました。

## イ 防府市文化振興財団内連携事業

### ・ 科学事業との連携

ソラールの開館25周年記念特別展「食品サンプル展～さわって、撮って、科学する！～」(会期：4月1日（土）～7月9日（日）)との連携企画として、関連資料展示「おいしそう！でも食べられない！！？食品サンプルの世界」(5月3日（水）～6月5日（月）)を行いました。

また、連携企画「読書感想文のヒント」を実施しました。科学に関する課題図書について、科学館学芸員と図書館司書のそれぞれの視点から、読書感想文を書くヒントをパネルにし、資料とともに展示しました。(会期：図書館7月5日（水）～9月4日（月）、ソラール7月5日（水）～9月3日（日）)

さらに、「紅葉どんぐり便」の受付窓口を、図書館と移動図書館車に11月1日（水）から23日（木）まで設置し、チラシを作成・配布しました。全部で約800枚の紅葉、13種類約34キロのどんぐりが集まり、12月5日（火）、ソラールから沖縄の小学校に向けてメッセージとともに発送されました。

## （6）子どもたちの読書活動を進めていく図書館

### ① 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

#### ア 子ども読書活動推進業務

##### ・ 子ども図書館員

夏休みの7月31日（月）と8月7日（月）に、小学校4～6年生を対象とした「子ども図書館員」を開催しました。2日間で18人が参加しましたが、貸出や返却などのカウンター業務のほか、閉架書庫内を見学したり、「ライぶらり」を体験したりしました。

##### ・ 防府市図書館を使った調べる学習コンクール

市内の小中学生を対象として防府市教育委員会と共催する、令和5年度防府市「図書館を使った調べる学習コンクール」（募集期間8月2日（水）～9月30日（土））を防府市教育委員会と共催しました。応募点数は、小学生32点、中学生4点でした。11月2日（木）の審査結果は、小学生は金賞1点・銀賞1点・銅賞1点、中学生は金賞1点で、小学生の金賞1点と中学生の金賞1点は全国コンクールに出展されました。なお、「上山満之進賞」は、菅原道真と防府について調べた中学生が受賞しました。

また、コンクール出品予定者を対象に、テーマの決め方、調べ方、まとめ方等について助言する「チャレンジ！調べる学習～テーマを決めよう・調べてみよう～」(7月2日（日）、7月23日（日））を開催し、児童12人が参加しました。

さらに、8月2日（水）～9月30日（土）の間、ブラウジングコーナー及び展示ケース横において、ポスターやチラシのほか、全国の入賞作品のレプリカを展示し、1月5日（金）～2月5日（月）の間、展示コーナーに今年度の入賞作品9点を展示しました。

##### ・ 読書感想文教室

7月29日（土）と7月30日（日）に「夏休み読書感想文教室」を開催しました。2日間で19人の児童が参加し、ワークシートを使って読書感想文の下書きをしました。

- ・ 職場体験・図書館見学等の奨励

職場体験等のインターンシップ、図書館見学等について積極的に受入れをし、子どもたちの図書館への理解促進と利用拡大に努めました。

- ・ 出前講座・出張イベント等の開催

6月24日（土）、金光教防府教会で開催された「聞いて得するふるさと講座」に職員を派遣し、局ノ内自治会の小学生を対象におはなし会を開催しました。

また、8月9日（水）、宮市福祉センターで開催された「聞いて得するふるさと講座」に職員を派遣し、小学生を対象におはなし会を開催しました。

さらに、9月21日（木）には「えんしん幼稚園」、3月11日（月）には「西須賀保育所」に職員が出向き、絵本の読み聞かせを行いました。

- ② 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

- ア ボランティアとの連携・協働業務

5月24日（水）に開催された「おはなしでんしゃ」のおはなし会において、図書館職員によるブックトークを行いました。

また、7月10日（月）に開催された「学校図書館ボランティアこんぺいとう」の本の修理講習会に、職員を講師として派遣しました。

## （7）障害者や高齢者に優しい図書館

- ① 障害者や高齢者が、気軽に楽しく利用できる図書館

- ア 障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務

行政やボランティア団体等と連携・協力し、点字・音声資料・大活字本・電子書籍等の整備に努めるとともに、郵送貸出・視覚障害者用音声付インターネット設備・電子図書館等のサービスを行いました。

- ② 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを積極的に行う図書館

- ア 対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出等の業務

ボランティアと連携し、対面朗読サービス・音訳図書製作等の推進に努めるとともに、障害者への郵送貸出サービスや「ひなぎくネット」について、周知と利用促進に努めました。

- ③ 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

- ア 障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務

障害のある利用者のためのボランティア活動を支援し、ボランティアによる施設・設備・資料等の活用促進に努めました。

## 5 収益事業

チケットの受託販売や、科学館のショップ運営等により、公益目的事業の財源となる収入の確保を図りました（有料駐車場は営業休止）。これらの運営に当たっては、施設利用者への更なるサービス向上につながるよう努めました。

### （1）文化施設の管理運営

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症法上の位置付けが2類から5類に変更になった中、ホールでの式典、研修会や講演会、その他の施設での展示即売会や会議、研修会など、各施設の公益目的以外の利用についても積極的に貸与し、施設の有効利用を図るとともに、地域振興の拠点となるよう努めました。利用者アンケートや市民からの提言などに基づいて、可能な限り各種改善を行い、利用者の立場に立ったサービスが提供できるよう取り組みました。

また、他市等の施設で開催されるイベントのチケットを含めたチケットの受託販売も積極的に行い、お客様の利便性を高めるとともに、収入の確保にも努めました。

### （2）有料駐車場の管理運営

営業休止中（イベント時に無料開放）

### （3）ミュージアムショップの運営

ミュージアムショップでは、科学を身近に感じる商品や企画展の関連商品をタイムリーに販売し、科学館の魅力向上や利用者の利便性を図るとともに、財源の確保につなげました。今後も科学館での体験をより豊かにするようなショップの運営に努めています。

## Ⅲ 理事会、評議員会

### 1 理事会

#### (1) 第1回理事会

開催年月日	令和5年5月16日(火)
開催場所	三友サルビアホール 4号室
決議事項	①令和4年度事業報告及び決算について ②規則の改正について ③令和5年度第1回評議員会(定時評議員会)の招集について

#### (2) 第2回理事会

開催年月日	令和5年5月31日(水)
開催場所	三友サルビアホール 5号室
決議事項	④会長、副会長及び常務理事の選定について ⑤評議員選定委員会委員の選任について

#### (3) 第3回理事会

開催年月日	令和6年2月14日(水)
開催場所	三友サルビアホール 4号室
決議事項	⑥令和6年度事業計画書及び収支予算書等について ⑦規程等の改正について ⑧令和5年度第2回評議員会の招集について

#### (4) 第4回理事会

決議があったとみなされた日	令和6年3月12日(火)
開催方法	決議の省略の方法(定款第37条第1項に基づく書面決議)
決議事項	⑨防府図書館長の選任について

### 2 評議員会

#### (1) 第1回評議員会

開催年月日	令和5年5月31日(水)
開催場所	三友サルビアホール 4号室
決議事項	①令和4年度事業報告及び決算について ②理事・監事の選任について

## (2) 第2回評議員会

開催年月日	令和6年2月29日(木)
開催場所	三友サルビアホール 4号室
決議事項	③令和6年度事業計画書及び収支予算書等について ④公益財団法人防府市文化振興財団会長及び役員等の報酬等支給規程の改正について

### **事業報告の附属明細書**

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年5月

公益財団法人 防府市文化振興財団